

## 議題 「新しい学校の基本方針について」

(第2回地域協議会における意見の抜粋)

### ○学校像

- ・学校と地域の連携により、学校の教育活動が豊かになり、地域も活性化する。
- ・生徒の学びと生徒の進路を保障できる地域の学校にしていかなければならない。
- ・地域の方々の協力を得ながら、地域との交流を深め、地域で活動し、中学生が来たいと思う学校にしなければならない。
- ・「工業」と「商業」のそれぞれの特色を活かし、子ども達が好奇心や意欲を養い、地域、産業界から期待される学校にしたい。

### ○育てたい生徒像

- ・産業界として採用時に最も大切と考えているのは「誠実さ」である。採用されれば、3年間は我慢できるような職業観を持った、誠実な生徒を育成して欲しい。
- ・社会の変化や課題に対応できる生徒を育成したい。
- ・教員と生徒が自信と誇りを持ち、節度があり粘り強い生徒を育成することが重要である。
- ・検定に受かること、資格を取ることは生徒の大きな自信に繋がるので、さらに上級の資格を取ろうと努力する生徒を育成して欲しい。
- ・豊かな人間性を身につけること、コミュニケーション能力のある生徒を育てることは、いつの時代も変わらずに求められている。

### ○特徴的な教育

- ・教室だけが学習の場ではないので、生徒や教師が積極的に地域との関わりを持ち、学校の技術を商店街に提供したり、生徒が地域の行事に参加するなど、双方向で連携したい。
- ・地域の方々の協力を得ながら、地域の交流を深めていきたい。地域で活動しインターンシップなども行って、地元で就職できるようにしたい。

- ・工業と商業ふたつの教育が受けられることをPRし、資格、免許が取れるようなカリキュラムにしていくべきである。
- ・職業高校に入学してくる生徒たちは、3年後には就職したいと考えて入ってくる。商業科や工業科に進み、資格を取って就職したいと考えている生徒に応える教育内容が必要である。
- ・商業という大きな枠ではなく、もっと焦点を絞った教育が必要なのではないか。パソコンが使えることは就職では最低条件である。ワープロソフトや表計算ソフトが必ず使えるという保証があれば就職にも役に立ち、ホームページ作成能力があれば即戦力になると思う。
- ・就職するときに地域のニーズに対応していなければならない。美馬・三好の医師会から強い要望があり、今、地域の看護師は大半が40代で、看護師であれば地域の病院等に就職が可能である。
- ・産業経営、美容、福祉や看護という話がでてくるが、10年先には、他の学校にも看護や福祉が増えてくると思う。そうなったとき、就職先が狭まって、果たして福祉科、看護科で就職ができるのかと思う。